

2010年度 経済学部研究会における合評会について

大阪産業大学経済学部では、大阪産業大学学会による補助を受け、毎月1回のペースで本学経済学部教員による研究報告を中心に、どなたでも参加できる研究会を開催しています。本年度の研究会では、本学教員による通常の研究報告に加え、新しい試みとして、本学教員の出版した著作について、当該領域に詳しい研究者をお招きして合評会を2回開催いたしました。今号に掲載しました3編の書評や応答は、合評会での議論をもとにしたものとなっています。また、本年度は、招待研究報告会も行われました。それらについて、以下に簡単に紹介させていただきます。

〈6月研究会における合評会〉

6月1日、本年度第3回経済学部研究会では、本学経済学部齊藤日出治教授の著書『グローバル化を超える市民社会—社会的個人とヘゲモニー—』（新泉社 2010年）、について、関西大学経済学部若森章孝教授をお招きし、齊藤教授による著書の解説および若森教授による詳細な書評報告が行われ、引き続き参加者たちによる活発な議論が行われました。

非常に難解な内容を含む齊藤教授の労作を、適宜解説を加えながら分かりやすく御説明いただいた若森教授に感謝申し上げます。

〈11月研究会における合評会〉

11月2日、本年度第6回経済学部研究会では、第1回鉄道史学会「住田奨励賞」を受賞した本学経済学部林田治男教授の著書『日本の鉄道草創期—明治初期における自主権確立の過程—』（ミネルヴァ書房 2010年）、について、東京大学社会科学研究所中村尚史教授を御招きし、本学経済学部加藤道也准教授による簡単な時代背景紹介、中村教授による詳細な書評報告が行われ、それに引き続いて林田教授による応答がなされました。

鉄道史に関する詳細かつ広範な研究をなさっている両先生による議論は、非常に有意義に展開され、時に迫力を伴って、参加者たちに当該テーマに対する興味と研究の深さを実感させてくれるものとなりました。プロジェクト等で非常にお忙しい中、大阪まで御運びいただいた中村教授に感謝申し上げます。

〈イアン・ニッシュ先生による招待報告会〉

11月4日には、来日中のロンドン大学名誉教授イアン・ニッシュ先生を御招きして、“International Reactions to Japan’s Annexation of Korea, 1910”，と題した招待報告会が行われました。本学林田治男教授とニッシュ先生との研究交流を通じて実現したのですが、当日は学外の研究者を含めた多数の研究者が集まりました。ニッシュ先生による日本語での御報告に続いて、参加者から質問がなされ、非常に活発な議論が展開されました。2010年は「日韓併合100年」に当たる年であり、ニッシュ先生によるタイムリーな論題設定と、御報告および質問への丁寧な応答は、その穏やかな御人柄と相まって、報告会を非常に和やかな雰囲気にしていただきました。参加者にとって英語による質疑応答を含め、大変有意義な集いになりました。御忙しい中、本学に足を御運びいただきましたニッシュ教授に心より感謝申し上げます。

『大阪産業大学経済論集』編集委員 加藤道也

Book Review Seminars at the Faculty of Economics in 2010

1. Book Review on Professor Hideharu SAITO’s Book by Professor Fumitaka WAKAMORI (Kansai University), 1 June 2010.
2. Book Review on Professor Haruo HAYASHIDA’s Book by Professor Naofumi NAKAMURA (University of Tokyo), 2 November 2010.
3. Lecture on “International Reactions to Japan’s Annexation of Korea, 1910”, by Professor Ian NISH (University of London), 4 November 2010.

KATO Michiya